

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 27 日(2023.3.27)

【国際公開番号】WO2020/201566
【公表番号】特表 2022-526103(P2022-526103A)
【公表日】令和 4 年 5 月 23 日(2022.5.23)
【年通号数】公開公報(特許)2022-090
【出願番号】特願 2021-556265(P2021-556265)
【国際特許分類】

10

A 2 4 D 1/20(2020.01)
A 2 4 D 3/17(2020.01)
A 2 4 F 40/40(2020.01)
A 2 4 F 40/20(2020.01)

【F I】

A 2 4 D 1/20
A 2 4 D 3/17
A 2 4 F 40/40
A 2 4 F 40/20

20

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 3 月 15 日(2023.3.15)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

上流端および下流端を有するエアロゾル発生物品であって、前記エアロゾル発生物品が 30
前記上流端と前記下流端の間に長軸方向を画定し、前記エアロゾル発生物品が、

エアロゾル形成基体と、

前記エアロゾル形成基体の下流に配置された、かつ前記長軸方向に沿って延びる中空管
状支持要素と、を備え、

前記中空管状支持要素が、前記長軸方向に延びる、かつエアロゾルが前記下流端に向か
って流れるように適合された開口部を画定し、

前記中空管状支持要素での前記エアロゾル発生物品の硬度が約 80%であり、

前記エアロゾル発生物品が、前記中空管状支持要素の下流に前記長軸方向に配置された
フィルターをさらに備え、

前記中空管状支持要素における前記エアロゾル発生物品の硬度が DD60A 試験によって 40
決定される、エアロゾル発生物品。

【請求項 2】

前記中空管状支持要素での前記エアロゾル発生物品の硬度が約 90%以下である、請求
項 1 に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 3】

前記中空管状支持要素が、前記エアロゾル形成基体のすぐ下流に配置されている、請求
項 1 ~ 2 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 4】

前記フィルターが、前記中空管状支持要素のすぐ下流に前記長軸方向に配置されている
、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

50

【請求項 5】

前記エアロゾル形成基体がたばこ含有基体である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 6】

前記エアロゾル形成基体が中空管状形状を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 7】

前記中空管状支持要素が、

内部体積を画定する中空管状周辺部分と、

前記内部体積内で前記長軸方向に延びる長軸方向構造と、

前記中空管状周辺部分および放射状構造によって少なくとも 2 本の通路が画定されていて、前記少なくとも 2 本の通路が前記長軸方向に延びるように、前記中空管状周辺部分から前記長軸方向構造まで、前記内部体積内に半径方向に延びる前記放射状構造と、を備え、

前記開口部が、前記少なくとも 2 本の通路を備える、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 8】

前記中空管状支周辺部分が実質的に環状である、請求項 7 に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 9】

前記放射状構造が、前記長軸方向構造から前記中空管状周辺部分まで放射状に延びる少なくとも第一および第二の平坦な放射状壁を備える、請求項 7 ~ 8 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 10】

前記中空管状支持要素が、その断面で実質的に対称である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 11】

前記中空管状支持要素が、発熱体を収容するように適合された陥凹部を備える、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 12】

前記中空管状支持要素が、ポリマー、好ましくはポリ乳酸 (PLA)、酢酸セルロース (CA)、デンプン、ポリヒドロキシアルカン酸 (PHA)、ポリプロピレン (PP)、ポリエチレン (PE)、ポリスチレン (PS)、またはそれらの組み合わせを含む、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 13】

前記中空管状支持要素の少なくとも一部品が、付加製造または射出成形によって製造されている、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 14】

エアロゾル発生システムであって、

請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品と、

前記エアロゾル発生物品の前記エアロゾル形成基体の中に挿入されるように構成された発熱体を備えるエアロゾル発生装置と、を備える、エアロゾル発生システム。

10

20

30

40